

Re-Inventing Japan Project

大学の世界展開力強化事業

Inter-university Exchange Program toward Medical and Dental Networking  
in Southeast Asia

東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

## Dental Training Program in Australia 2016

July 22-31, 2016



東京医科歯科大学  
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY



THE UNIVERSITY OF  
SYDNEY

## 目次

ページ

I	研修風景 Pictures	1
II	参加学生募集要項 Application Guide for the Program	3
III	日程・参加者 Schedule and Participants	5
IV	学生によるレポート（日本語・英語） Student Reports	8
V	スライド Slides	22

## I 研修風景 Pictures







平成 28 年 4 月 4 日

## 平成 28 年度短期海外歯科研修プログラムへの参加学生募集について

事業推進責任者 田上 順次

本学は、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業～ASEAN 諸国等との大学間交流形成支援～」に採択され、平成 24 年度から主に学生交流を中心に事業を展開しています。本学が実施する「東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム」は、チュラロンコン大学(タイ)、インドネシア大学(インドネシア)、ホーチミン医科薬科大学(ベトナム)と連携してコンソーシアムを形成し、我が国が有する先進的な医療・歯科医療機器や材料、最新の医療・歯科医療技術等を基盤とした東南アジアにおける大学間交流、ネットワーク形成を推進し、我が国の医歯学領域の世界展開力を強化する取組みです。

本学は、本事業の取組みの一環として歯学科の学生が海外で研修や学生交流を行うことを支援しており、平成 26 年度からは交流相手大学にオーストラリアの大学が追加され、学生交流の機会がさらに広がりました。

平成 28 年度については、下記の要領で参加学生を募集します。

### 記

- 派遣先：
  - シドニー大学歯学部(オーストラリア)
  - メルボルン大学歯学部(オーストラリア)

派遣先大学	派遣期間(予定)	対象学生	募集人数
シドニー大学 (オーストラリア)	平成 28 年 7 月 23 日(土) ～7 月 31 日(日) (9 日間)	歯学科6年生	2 名程度
メルボルン大学 (オーストラリア)	平成 28 年 7 月 23 日(土) ～7 月 31 日(日) (9 日間)	歯学科6年生	2 名程度

- 研修内容： 大学附属病院の見学・講義への参加・文化交流・学生交流等
- 支援内容： 往復航空券
- 奨 学 金： 前年度の成績評価係数(GPA)が 2.3 以上の場合、独立行政法人日本学生支援機構(以下 JASSO)から 7 万円の奨学金が支給される。(JASSO 規程により日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者のみ対象)  
※ GPA2.3 未満の場合、または外国人学生には奨学金は支給されないが、研修への参加は可能。  
※ 前年度の GPA については、各自歯学系教務係(歯科棟南 2 階)に確認すること。

5. 選考方法:

書類選考、及び面接試験(日本語／英語)を行う。TOEFL ITP テストの結果を参考にする。

※ 面接試験の日時、場所等は申請書受付後、メールにて通知する。

面接予定日: 平成 28 年 4 月 25 日(月)～28 日(木)

6. 申込先・締切日:

申請書(様式1)を本学 HP

(<http://www.tmd.ac.jp/grad/ohp/sekaitenkai/files/160408australiaguidelines.pdf>)からダウンロードし、必要事項を入力のうえメールにて [ossu@ml.tmd.ac.jp](mailto:ossu@ml.tmd.ac.jp) まで提出してください。

なお、提出の際は、件名を「【大学の世界展開力強化事業】平成 28 年度申請書」としてください。

締 切:平成 28 年 4 月 20 日(水)

7. 留意事項:

- 1) 派遣前に本学が加入する危機管理サービス”OSSMA”及び海外旅行保険に加入すること(加入費用は個人負担)。
- 2) 派遣終了後は、各種研修報告書を提出し、アンケート調査へ回答すること。
- 3) 参加学生は 10 月 18 日(火)に開催される国際シンポジウムで成果を発表すること。

8. 単位認定:

海外歯科研修プログラムに参加し、一定の条件を満たす学生には以下の単位を認定します。

- ・ 歯 学 科 学 生: 自由選択科目「デンタルエクスターンシップ」1 単位

問い合わせ先

統合国際機構国際交流課

菅原、古屋(5号館3階 内線 7013)

柴田、杜(1号館4階 内線 4941)

### Ⅲ. 日程・参加者 Schedule and Participants

#### 1. 研修期間 2016 年 7 月 22 日（金）～7 月 31 日（日）

Period: July 22-31, 2016

#### 2. プログラムの目的

##### ① 英語能力の向上

オーストラリアの学生や教員と英語で会話し、一般事項だけでなく、歯科の専門的な事項においてもディスカッションやディベートができる能力を身につける

##### ② 異文化理解

オーストラリアの文化、自然、生活習慣等について体験し、理解する。

##### ③ オーストラリアおよび日本の歯科保健状況や問題点の検討

オーストラリアの歯科保健状況、歯学教育システムについて理解する。

オーストラリアにおける水道水フッ化物添加によるう蝕予防に関する理解を深める。

##### ④ 国際的視野を涵養し、学生が将来指導者となるための動機づけ

国際的視野を養い、将来、人々と協力して国内外において指導的立場で働ける人となるための動機づけを行う

#### Goals of the program

##### ① To improve English ability

To communicate with Australian students and staff in English about general matters and also to promote international discussion and debate about dental professional matters.

##### ② To promote cross-cultural understanding

To appreciate and respect for cultural differences (traditional culture, religion, belief and lifestyle diversities) between nations and to accept the differences without prejudice

##### ③ To understand oral health situation and problems between Australia and Japan

To understand the oral health situation and dental education systems in Australia  
To enhance the knowledge of caries prevention by water fluoridation in Australia

##### ④ To get international viewpoints and motivate students to become future dental leaders

To cooperate with others and to learn leading roles among national and international dental professional communities

#### 3. 派遣先

オーストラリア ニューサウスウェールズ州シドニー大学

The University of Sydney, New South Wales, Australia

#### 4. 参加学生 Participants

歯学部歯学科 6 年 6 year dental students

大沼 啓 Hiraku Onuma

齋藤 夏実 Natsumi Saito

中島すみか Sumiko Nakashima

高田 愛子 Aiko Takada

#### 5. フライト Flight

往路 (TOKYO -> SYDNEY)

2016/07/22(Fri) 22:10 羽田発 NH 879

2016/07/23(Sat) 08:30 シドニー着

---

復路

2016/07/30(Sat) 20:55 シドニー発 NH 880

2016/07/31(Sun) 05:25 羽田着

---

#### 6. 宿泊先 Accommodation

ウェスリー ロッジ Wesley Lodge

175 Hawkesbury, Westmead, Holroyd, New South Wales 2145, Australia

#### 7. 国内連絡先

東京医科歯科大学統合国際機構 国際交流課国際交流掛  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 担当：柴田、延原課長  
tel: 03-5803-4941 fax: 03-5803-0366  
e-mail: [kokusai.adm@tmd.ac.jp](mailto:kokusai.adm@tmd.ac.jp)

#### 8. 現地連絡先

**Westmead Centre for Oral Health (WCOH)の受入れ担当者：**

**Robyn Watson** RDH Bsc MPA (デンタルセラピスト)

Lecturer, Periodontics

University of Sydney

Lvl 6 Sydney Dental Hospital, Surrey Hills

Lvl 1 Westmead Centre for Oral Health, Westmead

e-mail: [robyn.watson@sydney.edu.au](mailto:robyn.watson@sydney.edu.au)

**Concord Repatriation General Hospital の受入れ担当者**

Oral Health Education, Research & Service Delivery Unit

Centre for Education and Research on Ageing, Aged Chronic Care & Rehabilitation,

Bldg 12, Concord Repatriation General Hospital, Hospital Rd, CONCORD NSW 2139

tel: +61 (02) 9767 5843

**Garry Law** (Executive Officer)

tel: +61 (04) 0233 3582



e-mail : [Garry.Law@sswahs.nsw.gov.au](mailto:Garry.Law@sswahs.nsw.gov.au)

**Frederick Wright** (Professor)

e-mail: [fac.wright@sydney.edu.au](mailto:fac.wright@sydney.edu.au)

tel: 04 9977 5603 (+61 4 9977 5603)

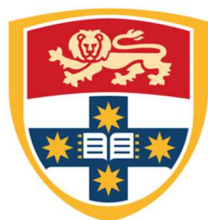
## 9. 必要書類 Documents

- 1). National Police Check
- 2). Criminal Record Check or Statutory Declaration  
CRC 発行が難しい場合は後方で代用可。
- 3). Overseas travel accident insurance
- 4). 100 Point identification checklist
- 5). National Criminal Record Check Consent Form
- 6). 学研債証書

## 10. Schedule

### 1) 全体スケジュール

1	7/22 (Fri)	22:10 羽田発 NH 879
2	7/23 (Sat)	08:30 シドニー着
3	7/24 (Sun)	異文化体験
4	7/25 (Mon)	Westmead Centre for Oral Health
5	7/26 (Tues)	Westmead Centre for Oral Health
6	7/27 (Wed)	Sydney Dental Hospital and Main Campus
7	7/28 (Thurs)	Concord Repatriation General Hospital Mr. Garry Law, Prof Clive Wright
8	7/29 (Fri)	異文化体験
9	7/30 (Sat)	異文化体験 20:55 シドニー発 NH 880
10	7/31 (Sun)	05:25 羽田着



THE UNIVERSITY OF  
**SYDNEY**

**Tokyo Medical and Dental University  
Student Electives Visit**

**Monday 25<sup>th</sup> July 2016**

Westmead Centre for Oral Health

<b>Time</b>	<b>Venue</b>	<b>Topic</b>	<b>Support</b>
9.00am	Welcome <u>Meet at main entrance,</u> <u>Westmead Hospital</u>	Tour and Orientation Westmead precinct	Prof Greg Murray & Thomas Shaw
10.00am	POH Boardroom, Level 1, Mons Road	Deans Welcome Morning Tea	Pro-Dean Heiko Spallek and faculty
10.45am	Research precinct	Tour and Orientation	Dr Shanika Nanayakkara
11:30	Faculty office WCOH	Sign statutory declarations	Marty Darragh
2:00pm	DMD Student Clinical Observation <u>Meet at WCOH Dental clinic</u> <u>reception</u>	Tour and Orientation of Integrated and first floor dental clinics	Dr Raul Taliana

**Tuesday 26th<sup>nd</sup> July**

Westmead Centre for Oral Health

Time	Venue	Topic	Speaker
9.00am	<u>Meet Robyn Watson at dental clinic entrance</u>  Paediatric Dentistry, Level 3, WCOH	Presentation:  <i>Management of the medically compromised child including cleft</i>	Dr Carrie Tsai
	Dental Clinic, Westmead Childrens Hospital	Tour and Orientation	A/Prof Richard Widmer
	Lunch		
1:30	Lecture room 3B 1 Mons Rd	Presentation:  <i>Dentistry and population oral health in Australia</i>	Dr Shanti Sivaneswaran

**Wed 27<sup>th</sup> July 2016**

Sydney Dental Hospital and Main Campus

<b>Time</b>	<b>Venue</b>	<b>Topic</b>	<b>Support</b>
9:30 am	University of Sydney Main Campus  Charles Perkins Centre <u>Meet at entrance to Sydney dental hospital across the road from Central Station</u>	Tour	Robyn Watson
1.30pm	SDH Tour and Orientation	Sim Clinic BOH clinic-Andrew Terry DMD clinic-Dr Heather Apthorpe	Robyn Watson

**Thursday 28<sup>rd</sup> July**

Concord Hospital

<b>Time</b>	<b>Venue</b>	<b>Topic</b>	<b>Speaker</b>
9.00am	Concord Hospital  Meet Robyn at Rhodes train station	Tour and Orientation	Dr Clive Wright

#### IV. 学生によるレポート Student Reports (Japanese)

大沼 啓 (D6)

今回の研修は約 8 日間と非常に短い期間であったがその内容は非常に充実したものであり、日々異文化に触れることで多くの事を得、また自身を顧みることができた。このような貴重な経験をさせていただいたこのプログラムに関わる全ての方々に感謝したい。

Westmead Hospital では学生の診療室や技工室、歯科系の研究室の見学をした。設備自体に大きな差はなかったが全体としてスペースを大きくとっていたり、色調に統一感があったりと私達の大学よりも清潔感があり過ごしやすい環境になっていると感じた。Westmead Children's Hospital は小児専門の病院であったが、細部に渡って子供やその親への配慮がなされておりそのこだわりには感銘を受けた。内観は「子供が怯えないように」とあえて病院とはかけ離れたようなポップなデザインになっており、壁にかけてある多くの絵は全て子供たちが描いたものであるそうだった。施設内には子供が遊ぶことのできる庭が数十か所散りばめられ、ゲームスペースも充実していた。そのうえ病院内には入院中の子供が通うことのできる学校、さらには家族も住める住居もあり徹底的に子供目線ですべてのことが考えられていた。シドニー大学のメインキャンパスは伝統的で壮大な建物が数多く並び、圧倒されるものがあった。オーストラリアでは 4 年制の大学を卒業してから歯学科への入学になるが、1 年生は他学部（薬学部、理工学部など）と一緒に授業を受けることができるらしく、「多科との連携」という点においても重きを置いているように感じられた。

日本とオーストラリアの違いで一番興味をそそられたのは「水道水のフッ素添加」であった。私たちが見学に行ったシドニー大学のあるニューサウスウェールズ州では 1956 年よりフロリデーションを開始し、現在では州の人口の 96%がフッ素の添加された水道水を利用しているとのことである。実際、フロリデーションをしている地域としていない地域で子供の齲蝕の罹患率に大きな差がでているようで、その効果には実績がある。ただオーストラリアにおいても反対意見として「個人の権利」が主張されることも多いそうである。水道水にフッ素を添加することは集団への投薬であり、自分が飲みたいものを飲むという権利を侵害しているという意見である。その他様々な理由からごく少数の一部の地域ではフロリデーションがなされていない。今回オーストラリアに関わる歯科事情を学び、フロリデーションは理解を得られれば非常に効果的な手法であるのではないかと思った。私自身、今まではフロリデーションについて学校で習った分についての知識はあったが、いまひとつ現実感ではなかった。しかし、こうやって実際に海外へと足を運び、実施している人達の意見をきくと今後日本でもフロリデーションを取り入れるかどうか、もっと積極的に考えていっても良いのではないかと思った。日本でまだ実施されていないのはそもそも関心が少ないことと正しい知識が伝わっていないことが大きいように思う。いずれにせよ、利点と欠点を天秤に



かけしっかりと評価し討論を重ね方針を決定していく必要がある。

現地の学生とのコミュニケーションは非常に刺激的で、同じ歯科医師を目指す者どうしではあるが異なった環境にいる人達と意見を交換できたのは自分の将来を考えるうえで大きな財産となったと思う。学生と一緒に訪れたブルーマウンテンでは日本にはない壮大な自然を目の当たりにすることができ感動したのを覚えている。オーストラリアの文化に触れ自分の世界観が一層広がったことを感じた。

#### 齋藤夏実 (D6)

今回の海外研修プログラムでは、8 日間にわたってシドニーに滞在した。研修内容としては、シドニーにある様々な病院を見学、いくつかの講義を受けたほか、12 月に大学間交流プログラムにて東京医科歯科大学を訪問予定のシドニー大学の歯学部生との交流を通じて異文化理解を深めた。

はじめにシドニー大学関連の 2 つの歯学系病院、Westmead Center for Oral Health 及び Sydney Dental Hospital(SDH)の見学について述べる。これらは公立の病院で、どちらも地域の歯科医療の基点となっているため大規模で来院患者数が多い。施設内には学生実習用の診療室や研究設備を備えており、学生臨床実習については設備、システム共に医科歯科との共通点が多かったため特段目を見張るものではなかった。その中で取り入れるべきと思った点は、ペアを組んだ学生は必ず一方が他方の診療をアシストする点であり、衛生士学校の臨床実習でも同様のようだった。使用器具の多い歯内治療やバキューム操作が必須のスクレーピング等で、一つ一つの診療ステップを確実に踏むことができしており、これは診療行為を始めたばかりの私たちにとってケース数を多くこなすこと以上に重要と思うので、医科歯科でも考慮すべきと考える。また、障害者歯科や小児歯科の治療に携わるチャンスが多いことも良い点であった。

次に University of Sydney Main Campus にある Charles Perkins Centre Research and Education Hub について述べる。多角的な視点を持ち多様な思想を融合することにより、問題解決を図るコンセプトのもとに設計された新しい施設である。主な研究テーマは糖尿病、肥満などの他因子性疾患、心疾患などで、これらに特化した臨床研究施設を地階に備えている。上階には実験施設、学生実習用の施設が整っていた。印象的だったのは、階段の踊り場に設けられた、階段を使用する誰もが内容に耳を傾けられるミーティングスペース、廊下から中の様子が外から窺えるガラス張りの研究室などである。更に学生実習用の実験施設は、様々な学科の最大 240 人の学生が一度に実験可能な仕切りのない広大なものであった。一貫して多分野の知識、思想の混じり合いに重きを置いた徹底した空間作りが行われており、日本ではおそらく有り得ない思い切った設計にここで研究してみたいと思わされた。他に、Westmead Children's Hospital と Concord Hospital の病院見学があったが、前者は

特に子供が来院を楽しみにできるような、欧米らしいカラフルな色使いと美術館のような個性的な設計が非常に印象的だった。

期間中受けたいくつかの講義では、水道水のフッ素化政策に関する知識を多く得ることができた。様々なデータを閲覧したことで改めてその効果が大きなものであることを知ると同時に、フッ素化の有無と DMFT に明らかな相関があり、また定められたフッ素濃度の水道水で起きた健康被害に関する科学的事実が無いにも関わらずフッ素化を認めない州が未だに存在することや、そのような州との交渉については日本とも通じる部分があると感じた。

最後に、オーストラリアの歯学部は4年制で、理系の学士号を持って入学するシステムである。このため学生のほとんどが自分より年長で多彩な背景を持っていた。卒業後の構想はみなはっきりしており、特にオーストラリアでは歯科医師は他の職業と比較し安定した収入が得られるため、これを副業として自分の夢を追いかけるという学生すらいいた。歯科医師免許取得のタイミングに遅すぎるといえるのではないと感じると同時に、歯科医師としての働き方には想像以上に様々な道があり、自分が知っていることだけが全てではないことを実感した。シドニー大学の学生はとても温かく自分達を迎えてくれ、オーストラリアの自然と文化に触れる機会を多く作ってくれたほか、英語での生きたコミュニケーションは特に刺激的だった。中でも12月に医科歯科訪問予定の学生とは特に良い友人関係を作ることができ、再会の時が今から楽しみでならない。総じて非常に有意義な1週間を過ごすことができ、このような機会を頂けたことを心から感謝いたします。

#### 中島すみか (D6)

7月23日から30日の7日間、オーストラリアのシドニーで研修を行いました。休日はシドニー大学3年生の学生の子達と、ニューサウスウェールズ州内の様々な施設で異文化体験を行いました。大学での研修1日目はウェストミードにあるシドニー大学歯学部附属病院、研究室、実習室を見学し、洗練された設備を目の当たりにすることができました。ここでは3年生から小児や障害のある患者の治療ができたり、オプションで数人はインプラント治療にも携わることができるそうです。このように学生のうちから多岐的分野で治療ができるのは、卒業後の進路を考えるにあたって選択肢を広げるのにとってもよいことだと感じました。2日目はCarrie先生とRichard先生による小児の歯科治療や全身疾患についての講義、チルドレンホスピタルの見学、午後はShanti先生による公衆衛生の講義を受けました。オーストラリアは全州で水道水フッ素化が実現しているだけあって、予防的なアプローチがすすんでいる印象を受けました。3日目はメインキャンパスに移動し、Robyn先生の案内のもと研究室や学生診療室を見学しました。パーキンソンセンターでは大きな肥満治療室があり、生活習慣から変えていくような最新の設備が備わっていました。学生診療室で

は皆白衣ではなくガウンを着用しており、2人ペアで片方アシストするのが原則だったり、染め出し液は色でブランクの付着時期が分かるものでした。模型実習室も各机にタッチパネルがついており、CR修復でも窩洞にグラスアイオノマーセメントで被覆してからCRを充填するのが基本だったり、どの部位でもラバーダムが必須だったりと医科歯科と違う様々な点を見ることができました。木曜日はコンコルド病院の見学とフッ素化など公衆衛生のミニ講義をいくつか受け、この国の様々な取り組みについて知ることができました。オーストラリアはアメリカなどと同様、初め3年あるいは4年間教養を学び医科や歯科に進む場合はそこから別の入学試験を受けて4年間専門分野を学ぶシステムになっています。学科内の年齢層は様々で、3年生でも25歳から上は45歳までと幅広いそうです。今回私たちの世話をしてくれた学生さんも年齢や出身国様々でしたが、みな大人でとてもやさしく、素敵な人たちでした。目標であった英語力の上達だけでなく歯科医師になる目の前の学生として医療面で新しいことを吸収するということを達成することができ、本当に充実したものとなりました。私は4年生時もタイに研修に行ったのですがその時とはまた違ったブリティッシュスタイルの建物や美しい海辺の景色、人々と出会い、忘れられない1週間となりました。学生として海外に行かせてもらう最後の機会となりましたが、ここで得られた経験や自信を今後へとつなげていきたいです。竹原先生、柴田さんをはじめこのような機会を与えてくださり渡航にあたってサポートしてくださった医科歯科の先生方に、心より感謝申し上げます。

#### 高田愛子 (D6)

私たちは7月23日から31日の9日間の日程でオーストラリアのシドニーにて研修を行った。私にとっては6年間の大学生活で今回が最初で最後の海外研修だった。引率の先生もおらず、学生四人だけでの海外研修ということで出発前は不安な点も多かったが、現地にてシドニー大学の学生や先生方にとても親切にいただき、充実した研修を行うことが出来た。

シドニーに着いた初日、2日目は休日であったため、シドニー大学の学生との交流や異文化体験を行った。3日目はWestmead Centre for Oral Health (WCOH)にて診療室や研究施設などを見学した。診療室は日本とよく似ていたが、患者自身がアイガードをしていることや診療が行われていないユニットがたくさんあったことが印象的だった。また、診療室からそれほど離れていない場所に研究施設があり、顎機能や免疫細胞など様々な研究が行われていることが分かった。医科歯科大学では医学部病院や歯学部病院、研究施設が別の建物になっているので、WCOHのように1つの建物内に全ての施設が含まれていることの利点も感じる事が出来た。

4日目はWCOHにてCarrie Tsai先生とShanti Silvaneswaran先生の講義を聞いたり、

Westmead にある小児病院の施設見学や Richard Widmer 先生の講義を聞いたりした。小児病院には子供のために第一に考えて作られた様々な工夫があり、印象に残った。ユーモアのある内装だけでなく、患児の兄妹たちが退屈しないような遊び場や感染症の危険がある子供のための特別な庭など日本では考えられないような施設がたくさんあった。日本では、子供にとって病院は行きたくない場所、恐怖を感じる場所として捉えられているが、工夫次第で子供が楽しめる病院にすることもできるのだと感じた。

5 日目はシドニー大学のメインキャンパスや Charles Perkins Centre(CPC)を見学した。メインキャンパスの敷地は広大で、敷地内に博物館やフットサル用のコートがあった。CPC の建物内は近代的なデザインやガラス張りの研究施設などが印象的だった。異なる分野の専門家たちがチーム医療を行うことが出来る環境も整えられていた。また、午後には Sydney dental hospital も見学させていただき、歯学生たちの実習の様子を見学することが出来た。実習に用いる器具や材料などは日本と似ているところが多いが、学生たちが円形にグループを作って実習を行っていたり、実習室内に人工歯を買うことが出来る販売機があったりと異なる部分も見られた。

6 日目は Concord Hospital へ行き、施設の見学や講義、ディスカッションなどを行った。その後は Aged Care Facility へ行き、介護施設での訪問歯科について学んだ。口腔ケアに関する様々な講義を聞いたが、その中でも水道水のフッ素化に関する講義が印象に残った。講義を聞き、フッ素化が良い影響を及ぼしていること、フッ素化されていない地域との格差が生じていることなどを知った。オーストラリアではフッ素濃度が正確に管理されており、デメリットはほとんどないということを聞き、日本でもフッ素化を取り入れても良いのではないかと感じた。

今回の研修を通して、日本とは異なるオーストラリアの文化、歯科治療を学び、もっと深く学びたいという気持ちが強くなった。また、オーストラリアには他の国から来た人々が多くいたが、共通言語である英語でコミュニケーションをとっており、私ももっと英語を上達したいというモチベーションが高まった。最後に、学生だけで臨んだ海外研修を有意義なものにさせていただいた現地の学生や先生方に心から感謝したい。

## Student Reports (English)

### **Hiraku Onuma (D6)**

The exchange was a very short but fulfilling 8 days. I was able to reflect on myself and learned many things by experiencing a different culture.

I would like to express my deepest gratitude to all the people involved in this program who have given me such a valuable experience.

At Westmead hospital, we observed the student clinics and the student laboratory. There was not much difference in terms of the equipment, however, the space was a lot larger, and the color scheme imbued a sense of unity that was very uplifting. In that regard, it was different to our clinics, and I felt that it might have been more enjoyable to have been in such an environment during our university days.

Westmead Children's Hospital is a pediatric hospital. It is really impressive to have a health facility dedicated solely to children. It doesn't have the typical appearance of a hospital so as to not frighten the children. All the paintings hung on the wall of the hospital were drawn by children and it has numerous small gardens and open spaces that the children and their parents can play in together. Furthermore, there is a school that the children in the hospital can attend easily, and houses nearby where their families can live. The main campus of the University of Sydney has a lot of traditional buildings - the scenery of which overwhelmed me.

One of the biggest difference in the dentistry between Australia and Japan is 'Water Fluoridation'. In New South Wales, water fluoridation was implemented in 1956 and currently, 96% of the state's population uses fluoridated water. This is based on the idea that water fluoridation is effective in preventing caries. I learned about water fluoridation in Australia and believe that we have to discuss this topic further in Japan.

Communicating with the Australian students was very exciting and it made me think more carefully about my future. Learning about Australian culture has expanded my own view. This overseas experience has been a very beneficial and rewarding opportunity for me.



## **Natsumi Saito (D6)**

In this exchange program, I had lots of good experiences not only looking around hospitals or having lectures from various lecturers but also being exposed to nature and culture of Australia during eight days of stay in Sydney. It was also a great part of this program that I made firm and even lifelong friendship with students from University of Sydney.

Firstly, I will show what I learned from the visits to each dental hospital below. Westmead Center for Oral Health and Sydney Dental Hospital (SDH) are both big public hospitals that provide mainly public dental service to the local communities. They are also teaching facilities of University of Sydney that provide clinics for senior dental students just like our general clinic on fourth floor of TMDU dental hospital, simulation clinics mainly for junior students, research training facilities and so on. Concerning to clinical training program, most of them that USyd provides and facilities related to them are quite similar to what TMDU provides but there are some good points that I would love to follow. One is that USyd students always work in pairs in clinic, which means one always assists another when doing any kinds of treatments on patients, so the operator can focus on each step of treatments and finish them precisely. Another is that they can more access to patients who need special care and young patients than we can even though they just assist their mentor.

Then I will tell about Charles Perkins Centre Research and Education Hub which is the new building located in main campus of USyd. Researchers there basically focus on diabetes, obesity and cardiovascular diseases to give solutions to the global and complex health problems by looking them from every angle, thinking in different ways and combining diverse ideas. It is quite impressive that this building is beautifully designed to accomplish this concept. For instance, there are meeting spaces located at the end of stairs and everyone using stairs can find what the topic of the meeting is or new ideas there, or there is a huge student laboratory which has a capacity of 240 students equipped with microscopes and computers for each to learn not only the things related to their own major but also other things by working right beside students from different faculties at the same time. As I had never seen this kind of building in Japan it was fascinating enough for me to come to think that I would love to do some researches there. Also, I visited Westmead Children's Hospital. They try to make this hospital cheerful place for children so that its appearance is almost like museum, most part of the building are quite colorful, there are lots of gardens, playgrounds and volunteer staffs and the atmosphere in the hospital is delightful. Especially there is a clown doctor who cheers young patients up for treatments or entertaining them. That hospital is totally beyond

splendid and I hope the clown doctors become more common in Japan because the job is quite unknown and the number of clown doctors is small in Japan, in contrast there are clown doctors in each children's hospital in Australia and they are quite popular.

Secondly, I will mention the lectures I had. The topics are mainly community health, population health and water fluoridation in Australia. I learned that water fluoridation is the unique and successful part of Australia's oral health plan that covers most of the population and lead significant drop of the number of DMFT but still a bit controversial in some states. I might not say water fluoridation is fit in Japan for some reasons but I think the efforts that the Australian government made to establish fluoride water supply nationwide are quite impressive and it is one of the good solution to improve oral health of all the people equally.

Lastly, new friendship between USyd students and us TMDU students is the biggest thing that I got in this exchange program. Because dental students in Australia have to get science degree before starting to study dentistry, students of USyd are all older than us, they have various backgrounds and the plans for their future are also various. It was quite interesting to talk about our life as a future dentist or anything else and I got lots of new ideas how I am going to be like from the conversation. Also they were so warm and kind to us that they always helped us making plans and took us everywhere they recommended to go. Thanks to them we could have a lot of chances to be exposed to Australian unique culture, food, atmosphere and nature. In particular, Blue Mountains National Park was the most unforgettable place for me where huge red cliffs extend to faraway and waterfalls flow down to jungle, that I came to realize how huge and different the Australian Continent is comparing to Japan.

Ultimately, it was such a great visit to learn differences and similarities between Australia and Japan in terms of oral health and to make international friendship so I am truly satisfied with the fact that I accomplished the goal I set before visiting Australia. I appreciate being one of the members of the program and I am thankful to everyone who organized our visit and took care of us. I am so looking forward to seeing the students and staffs of USyd again in this December.

### **Nakajima Sumika (D6)**

I went to Sydney in Australia as a dental externship from July 23<sup>th</sup> to 30<sup>th</sup>. In the weekend we experienced different cultures with 3year students of Sydney university in many places in New South Wales. In the first day in the university we visited dental hospital in Westmead. I observed clinic, laboratory, and practice room and could meet sophisticated devices. There students can treat children and disadvantaged patients from 3year. Some students even can do implant treatment. I think this program which provides the chance of a wide variety of treatment is so efficient for undergraduate students to consider how to work as dentists after graduated. In second day we took lectures of pedodontics related to systemic disease from Dr.Carrie and Dr.Richard and observed children hospital, then in the afternoon took lecture of public health from Dr.Shanti. I found that Australia accomplished water fluoridation in all states. So I felt there promotes prevention. In 3<sup>rd</sup> day we saw laboratories and students hospital in main campus with Dr.Robyn. in the perkinson centre there was a rehabilitation room for obesity which has new device to change patients lifestyle. In students clinic students wore not dentist coat but gown and always assist each other. I also found the disclosing agent indicates when the plaque stuck by the color. In model training room each desk has PC which mounts touch panel. I was surprised to see; they put glass ionomer cement on the cavity before filling composite resin every time, and use rubber dam in any composite restoration. There were so many different points from TMDU and was inspiring. In 4<sup>th</sup> day we visited the concord hospital and took some small lectures about public health like water fluoridation. I could know many activity of Australian government. Like other countries like the U.S. Australia university students study general subjects for 3 or 4 years at first. And if they want to specialize dentistry or medicine or else they have to take extra entrance examination. After passed the exam they study the subject for 4 years. In Sydney university students age is so different that even in 3<sup>rd</sup> grade 25 years old as youngest and 45 as oldest. The students who took care of us had also various age and nationality, and all of them was grown-up, so tender, nice people. I could spend so fulfilling days cause I could accomplish my goal that not only improving English skill but also absorption of medical aspect as a student who will be a dentist near the future. I also went to Thailand 2 years ago as a dental externship and this time I met the different scene from Thai like British style building, beautiful seaside, and friendly people so become an unforgettable memory. It was the last chance to study abroad as an undergraduate so I want to take advantage of this experience and confidence that I gained for my future. I sincerely appreciate to Dr. Takehara, Ms.Shibata and TMDU staffs for giving me such a chance and supporting our

preparing to this journey.

**Aiko Takada (D6)**

We participated in the exchange program in Australia for 9 days, from 23th to 31st July. This was the first and last chance for me to participate it in my school life of 6 years in TMDU. I was worried about going abroad only by ourselves before starting this program, but thanks to students and teachers of the University of Sydney, I could have a wonderful days there.

On the 1st and 2st day in Sydney, we visited many famous places in Australia with exchange students because they were weekends. On the 3rd day, we had a tour of Westmead Centre for Oral Health (WCOH) which has dental clinics and laboratories for dentistry. The system of dental clinics is similar with that in Japan but I was surprised to see that patients wore eye guards during the treatment and many dental units were not used at all. In the laboratories, the researches are conducted regarding the jaw function, immune system and so on. In TMDU, the laboratories and dental clinics are in different buildings so I thought it was useful that both of them were in the same place.

On the fourth day, we had two lectures in WCOH. Dr Carrie Tsai gave us the lecture about management of the medically compromised child and Dr Shanti Sivaneswaran gave us the lecture about oral health in Australia. When she asked us about oral health in Japan, we could not answer her question properly. I think that I have to learn more about it to be able to compare with oral health in other countries. We also visited Westmead Childrens Hospital and learned about pediatric dentistry through the lecture from Prof Richard Widmer. I was impressed with many devices in the hospital such as the private garden for therapy use and the playground for children whose brother or sister is taking a treatment in the hospital. In Japan, most children are afraid to go to a hospital but it may be possible to make a hospital where children want to go.

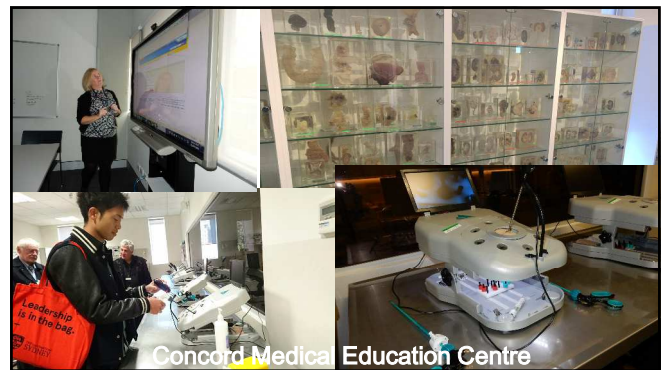
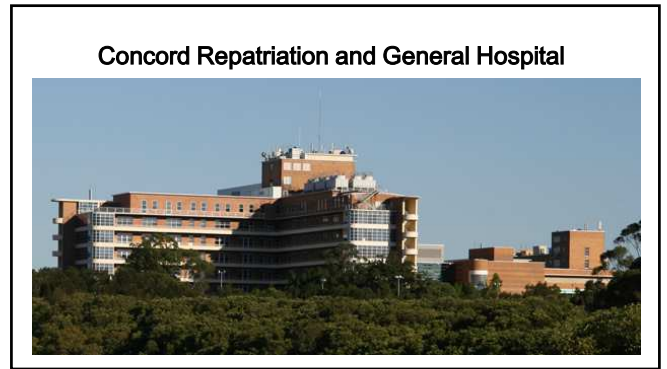
On the fifth day, we visited main campus of the University of Sydney and Chales Perkins Centre(CPC). The main campus is very large and includes museum and many courts. In CPC, the design of the building is unique and there are treatment rooms for dealing with obesity, diabetes, cardiovascular disease and so on. I feel that many specialists can discuss and cooperate for patients there. In the afternoon, we also visited Sydney dental hospital. The 1st year dental students practiced clinical training there. The tools and materials were same as Japanese training but I found some differences. For example, there is a bending machine for buying artificial tooth, and the training desks are installed circularly.

On the sixth day, in Concord Hospital, we met Dr Clive and learned about oral health in Australia. I was interested the most in water fluoridation. I found that the number of people who have caries has been decreasing since water fluoridation was started, however the areas where it is not started are still left. I heard that it is safe if it adjusts the concentration of fluoride in drinking water supplies to a level providing optimal dental health benefits. I also think that water fluoridation should be started in Japan. After that, Dr Steve took us to Aged Care Facility and taught us how the dental treatment was provided there.

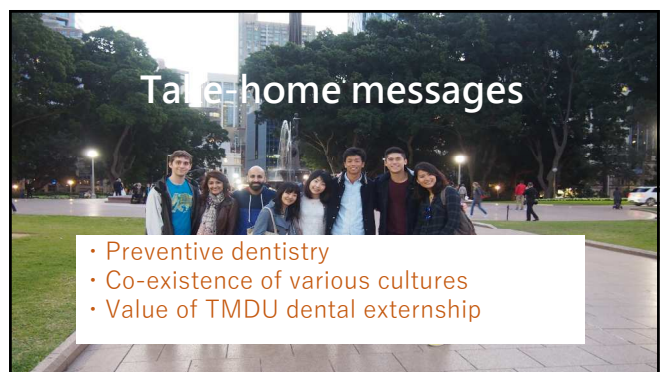
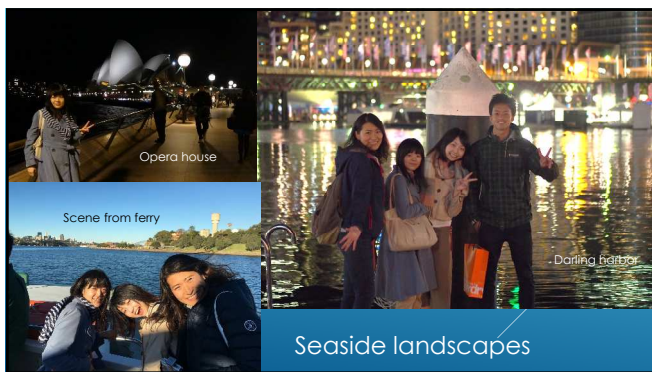
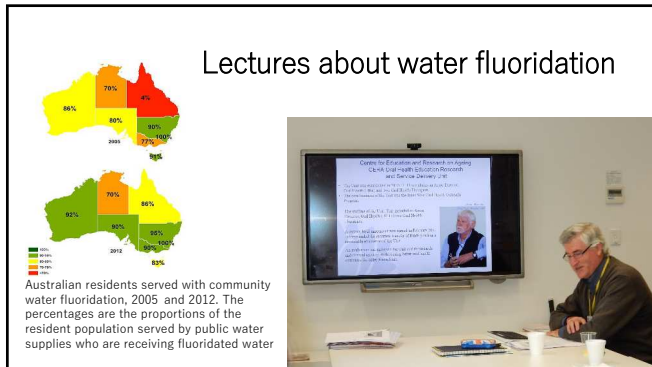
Through this exchange program, I learned about the Australian culture and dentistry and want to learn more about them even though it was too short term for me. In addition, I thought I need to improve my English skill because there are not only Australian but also many foreign people who communicate in English in Australia. Finally, I would like to express my deepest gratitude for all people's kindness whom I met in this program.











## Take-home messages

- Value of TMDU dental externship

